


チームで楽しく健康づくり

「もっと健康!げんき!アップくまもと」なかよし対抗戦入賞

熊本健康アプリ「もっと健康!げんき!アップくまもと」は、日々の健康づくり活動でポイントをため、さまざまな特典を受け取ることができるアプリです。

そのアプリでチームを組み、1人当たりの平均歩数で争う「なかよし対抗戦」に、今年は各市町村 198 グループが参加。市町村別ランキングでは「田原クラブ」が見事益城町 1 位に輝きました。

楽しみながら健康づくりに取り組めるアプリ。皆さんも始めてみませんか。アプリホームページ→ 



益城町のランキング 1 位となった田原クラブの の だりゅうこ こういち なかむらちとし
 (左から)野田龍子さん、幸一さん夫婦(田原)、中村千歳さん(田原)



⑤みそ汁を作る神村春菜さん、明莉さん親子 ⑥完成した料理

親子で挑戦! わくわく料理教室

おやこ料理教室

11月25日、町食生活改善推進員協議会によるおやこ料理教室が保健福祉センターはびねすで開催されました。

参加した子どもたちは、保護者やヘルスメイト(食生活改善推進員)のサポートを受けながら、野菜を切ったり、卵を炒めたり、楽しそうに調理していました。

できた料理を、普段は小食・野菜が苦手な子どももべろりと平らげてしまい、その様子に保護者もびっくり。

かみむらあかり
 神村明莉さん(広崎3町内)は、「楽しかった。ヨーグルトムースが一番おいしかった」と笑顔で話しました。

消防団ってどんなお仕事?

消防団を学ぶ特別授業

11月30日、益城中央小3年生を対象に、町消防団による特別授業が行われました。

この授業では、町消防団員7人が講師を務め、町消防団員は何人いるのか(解答:約500人)、消火活動の際に使われる水の量はお風呂何杯分なのか(解答:約500杯・40トン)、など消防団についてクイズ形式で解説。解答に児童たちから驚きの声が上がりました。

また、普段見ることのできない防火水槽の中を見学。その水槽の水を利用して、消防団員による小型ポンプを使った放水の実演や、積載車の乗車体験も行いました。

質問の時間には、「なぜ消防団に入ったんですか」(回答:「祖父・父が消防団員だったのできっかけです」)など、さまざまな質問が児童から投げかけられました。

写真/ **1** 防火水槽の中をのぞく児童たち **2** 消防団員による放水の実演 **3** 積載車に乗車! 貴重な体験

